

「オバマ新政権と中東、エネルギー」

中東研究センター
研究主幹 高木 雄次

米国でオバマ新政権が誕生した。国家再生の事業をもう一度始めようと訴えたオバマ大統領は、選挙公約だった「変革」を実現する政策を矢継ぎ早に打ち出してきた。大型の国家予算投入は未来への投資であるとするオバマ流ニューディール政策は、景気浮揚と雇用創出の同時達成に向けていよいよ第一歩を踏み出した。

本稿は、オバマ政権が取り組む経済、外交、エネルギー政策の骨格を歴史的な視点で分析し、更にエネルギーを取り巻く地球規模の新しい潮流変化と、グローバル化する世界における中東の役割と責任について、その重要性を論じたものである。その上で、米国と中東の重層的な関係を関与と相互依存の視点で論考し、サウジアラビアと米国の特別な二国間関係にも触れている。中東とエネルギーに潜むオイルマネーというソフトパワーが世界をどう動かすかという観点で中東の今と将来についても洞察したものである。世界経済を動かす大きなファクターとして、中東とエネルギーは今後とも眼が話せない地域であり商品であり続ける戦略性と優位性が論じられている。

お問合せ : report@tky.ieej.or.jp